2023年7月13日（木）第9回オレンジクロスシンポジウム
『コンパッションに支えられるまちを考える』

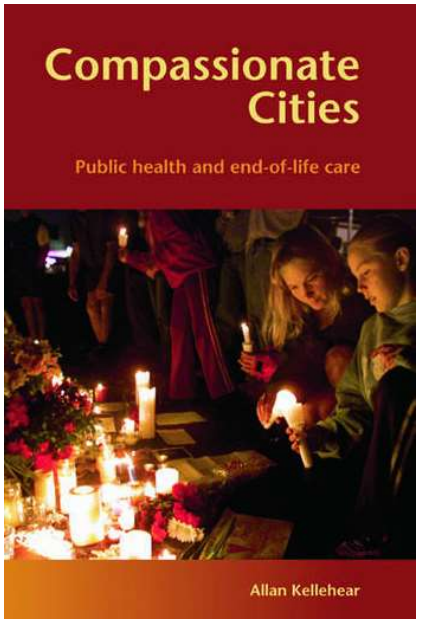
第2部

生老病死を地域住民の手に取り戻そう

－コミュニティでの支え合いに向けたチャレンジ－

企画趣旨

堀田聰子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科　shm@sfc.keio.ac.jp　）



想像してみよう。

コミュニティでは、そのメンバーの健康と
社会的ウェルビーイングが気にかけられている。

また想像してみよう。

その気づかい（care）は、コミュニティの
一人ひとり（everyone）が経験する
死にゆくこと（dying）、死（death）、喪失（loss）に及んでいる。

さらに想像してみよう。

ここで「死」の理解は、たんに身体の死にとどまらず、アイデンティティの死や帰属の死を含んでいる。これらの死は、認知症や性的虐待の後遺症とともに生きる人々、また所有権を奪われた先住民や難民が経験しているものだ。

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』はじめに
https://www.keio-up.co.jp/np/isbn/9784766428261/

コンパッション都市の中心概念

1. コンパッションは、**健康にとって倫理的に不可欠**なもの〔倫理的な要請〕である
2. **健康は積極的な概念であり、疾患、障害、喪失があったとしても成り立つ**
3. コンパッションは、ホリスティック・エコロジカルな観念である
4. **コンパッションは、喪失の普遍的性格に対する関心を含む**

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第3章80頁

コンパッションとは

- ラテン語の‘cum’（共に）と‘patior’（苦しむ）に由来（76頁）
- 語根が示唆するのは**他者と苦しみを分かち合うこと**ー他者の苦しみを耐え忍び、苦しみを担い支えること（77頁）
- コンパッションとは**人間的な応答、他者の苦悩や苦しみに突き動かされる柔らかな反応**（79頁）

- この用語の中心には、**互恵性（reciprocity）と具体的行動（action）**という考え方（iv）

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第3章／日本の読者へ

- 共感は多くの場合、コンパッションの重要な要素で、適切な方向に導かれるべきであり、そのためには自分と他者の違いを念頭に置く必要があります。

ージョアン・ハリファクス『コンパッション』

喪失の普遍的性格

喪失は、終末期疾患の結果としてだけでなく、暴力（犯罪や虐待の犠牲者）により生じることもありうる。自分たちの土地や文化的伝統・アイデンティティからの強制的な隔離（難民、先住民、国際養子縁組）は、当事者が経験する所有の剥奪を、死別に等しいものとしてしまう。

これはエンドオブライフケアと同様、コンパッションの関心事になる。

こうしてわたしたちは、次のように注意の向きを変える。

エンドオブライフケアの「エンド」の語義――「個人の生」の伝記的・物理的な終わり――から、喪失とアイデンティティのより幅広い理解――わたしたち自身の内と外に広がる、より広域のコミュニティとのつながりとその終結――へ。

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第3章81 頁

コンパッションという考え方とともに、わたしたちは「健康」と「福祉」という20世紀の古いカテゴリーを乗り越え、無用なものとすることができる。

パブリックヘルスによるコンパッションの表明とともに、古いカテゴリーは継ぎ目なく互いに隣接したものに変えられるはずだ。

経済と社会、健康と福祉、法律と道徳的行為といった諸問題は、一人ひとり（everyone）の健康、支援、幸福（well-being）に関する単一の言説へ組み替えられるだろう。

それはたんに脆弱な健康（fragile health）しかもたない人たちがいるからではなくて、生きることそれ自体が壊れやすい経験（fragile experience）であるからだ。

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第9章288頁

（参考）コンパッション都市を明確に表す特徴

1. コンパッションは、倫理的な要請と認定する地域の健康政策をもつ
2. 高齢者、生命を脅かす病気とともに生きる人たち、喪失とともに生きる人たちの特別なニーズを満たす
3. 社会・文化的な差異に強くコミットする
4. 地方自治体の政策と計画のうちに、グリーフ・緩和ケアサービスを含む
5. 多種多様の支えとなる経験、交流、コミュニケーションへのアクセスを住民に提供する
6. 先住民との和解を促進し、記念する。またコミュニティにとって重要な他の喪失を記憶にとどめることを奨励し、これらの記憶を記念する
7. グリーフ・緩和ケアへの簡便なアクセスを提供する
8. 農村・遠隔地の住民、先住民、ホームレスを含めて、経済的に不利な条件にある人々の存在を認識し、受け入れのための計画を立てる
9. コミュニティの精神的な伝統と物語の語り手を守り育てる

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第3章84頁ボックス5

（同292頁から「コンパッション都市憲章」も参照のこと）

わたしたちはしばしば、死と喪失を心理専門職の手にゆだね、
まさにそれによって、死は個人のプライベートな事柄である
という誤った考えを補強してしまう。

さもなければわたしたちは、死すべきものである（mortality）
という課題をホスピス・緩和ケアに引き渡し、
人生の終わりのケアはターミナルケアー人生の最後の数週ないし
数日に限定されたケアーにすぎないという
同じく間違った印象を、ホスピス・緩和ケアの内外に与えてしまう。

**これら2つの専門職のストーリー展開に乗ってしまえば、
喪失は普遍的な課題として、あるいは死、死にゆくこと、喪失は
どこにでもみられる普通の事柄として、もはや語られなくなる。**

重大な災害でも起きないかぎり、個人の死と喪失はコミュニティの経
験として受けとめられることはまずない。

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』序

コミュニティ形成（community development）とは

コミュニティにおける生活の質を向上させるために、
コミュニティの社会的資源を開発することを目的としてデザインされたあらゆる一連の取り組みを指す。

このことは、コミュニティ形成の取り組みが、
社会生活における娯楽、健康、福祉、教育、および職場といった
多様な側面を幅広く含むかもしれないことを意味する。

ただし、コミュニティ形成がたんなる政府や企業の取り組みと異なるのは、特定されたニーズやウォンツ、問題が、
それらのニーズや問題の影響を受けるコミュニティの多様な人びとによって明確にされたものであるということである。

さらに、新たに確認されたニーズや問題に対する解決策は、たんに民間や政府のサービスの拡大を主張することに求められるのではない。
新しい方法や、今までにない方法で人々と資源をつなげるような解決策が求められる。（212-213頁）

ーアラン・ケレハー『コンパッション都市 公衆衛生と終末期ケアの融合』第7章

第2部の趣旨と構成

誰もが抱える弱さや苦手、困難を、コミュニティのなかで支えあい、学びあうことに向けた各地のチャレンジを、出会い方や場づくり等の観点から味わいます。

"We already care for each other, we already know we have compassion."インド・ケララ州で長年にわたりコミュニティを基盤とする緩和ケアを推進するクマール医師の言葉です。

私たち一人ひとりのなかにあるコンパッション、そして住民のコンパッションに満ちたコミュニティの諸相を紐解いてみませんか。

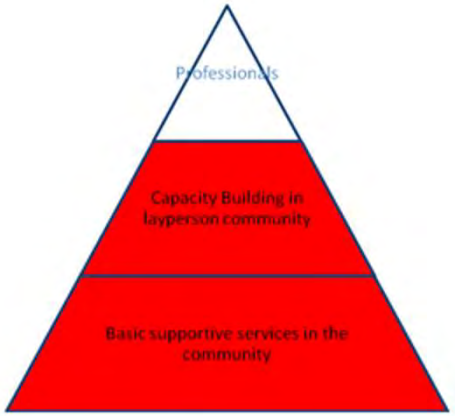
演者	藤岡聡子さん	（ほっちのロッヂ 共同代表・福祉環境設計士）	長野県北佐久郡軽井沢町
	宮田隼さん	（コミュニティハウスひとのま 代表）	富山県高岡市
	森祐美子さん	（認定特定非営利活動法人こまちぷらす 理事長）	神奈川県横浜市
	池野優真さん	（コミュニティナースカンパニー インターン）	島根県雲南市

進行　藤岡聡子さん・堀田聰子

ケララモデルと学生ボランティア

本報告は、一般財団法人オレンジクロスを事務局とする「コンパッションに満ちたまち」検討事業の一環として
2023年3月に行った現地調査に基づくものです。

地域密着型緩和ケア（ケララモデル）と地域ボランティア



ケララモデル：
診断名・年齢・社会階層にかかわらず不治の病、寝たきり、死にゆく患者の問題に、地域コミュニティが参画する医療サービス提供により対応する緩和ケアの仕組み

図の出所：https://instituteofpalliativemedicine.org/facilitation.php

- 終末期の患者・不治の病とともにある患者・長期にわたりケアを必要とする人や家族へのケアを**医学的な問題ではなく社会的な問題**とみなす。
- 根拠：医師・看護師等によるケアに加え、身体的、心理社会的、霊的な支援を継続的に受ける必要がある。ケアはできるだけ自宅の近くで受けられることが望ましい。**患者をとりまくコミュニティには、セーフティネット構築に十分なソーシャルキャピタルが存在する。**
- 地域密着型緩和ケアサービスはコミュニティの参画により運営され、ニーズアセスメント・計画・実施・資源開発・日々のマネジメント・プログラムの評価に参加、プログラムのオーナーシップを持つことが望ましい。
- 4つの構成要素：医療・看護介護・**トレーニングを受けた地域ボランティア**・啓発された地域ボランティア（始まりはどこからでも）
- ファンドレイジング
- 政府とのパートナーシップ

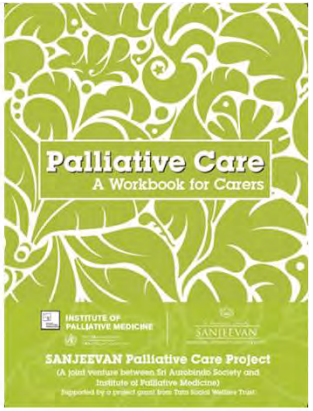
https://instituteofpalliativemedicine.org/downloads/Palliative%20Care%20Workbook%20for%20Carers.pdf
（私訳準備中）

ご近所に進行した乳がんの32歳の女性がいます。彼女はフルタイム勤務の夫と8歳・16歳の子と暮らしています。
主治医は、夫に彼女の余命は6-9カ月くらいと告げています。

あなたが昨日彼女を訪ねたところ、彼女は全身の痛みをうったえ、とても不安そうでした。

ご近所として、彼女や家族に対してなにができるでしょうか？

- 小グループで相談しましょう（10分）
- あなたができることをリストアップしましょう（5分）
- 他のグループとアイデアを交換してみましょう（10分）



Contents

Foreword
Acknowledgements
1. Why This Workbook? 11
2. How To Use This Workbook? 14
3. What is Palliative Care? 15
4. Community Participation in Palliative Care 21
5. Ethical Issues 25
6. Communication Skills 31
7. Physical Problems 43
8. Spiritual Issues 48
9. Socioeconomic & Emotional Issues 55
10. Mobilising Local Resources 64
11. Nursing Care 67
12. Carers Issues 76
13. Death and Dying 78
14. Grief and Bereavement 81
Appendix 1 - Reporting Format For Community Volunteers 84
Appendix 2 - Proposed Modules For Sensitization and Training Programmes 87
Notes 91

緩和ケアってなぁに？

緩和ケアにおける地域参画

- 寝たきりの方、高齢者、死にゆく方やその家族に対してできることを考えてみましょう。
- それをするために、同じような考えの人をどうやったら見つけられるでしょうか。
- どうしたらそういう方々と地域で一緒に活動できるでしょうか。

（相談10分、共有10分）

https://instituteofpalliativemedicine.org/

because
I Care

Students in Palliative Care（SIPC）

＜SIPC＞

- 長年NNPCの一環として医療従事者に加え地域ボランティアを育ててきたなかで、大学・学生が気づき、草の根で活動が広がり、2010年に学生コミュニティのイニシアティヴとして始動。**寝たきり・不治の病、死にゆく人々のための適切で手の届く支援プログラムの展開**を目的として、緩和ケアに関する啓発、患者のケア、ボランティアや物資・資金集めなど学生の一環した参画に尽力。**コンパッション都市構築に向けた社会改革に取り組もうとする若年層の幅広いプラットフォーム**に。
- 現在、カリカットの65の大学でプログラムを実施。1年生で1時間啓発プログラム→関心があったらボランティアのトレーニング
  - 無報酬、単位なし、患者のケアのみならず**地域やIPMの敷地内で何をしてもいいよ、したいことをしてね**
  - 活動の例：Curios-Celebrating Compassion（1,000人の学生ボランティアが2か月間準備する3日間のお祭り）

https://www.thehindu.com/news/cities/kozhikode/ipms-curios-carnival-makes-a-colourful-comeback-in-kozhikode/article66522142.ece

＜若者との意見交換＞

- 参加者：英文学、商学、社会学を学ぶ学部生、インド出身でケララモデルの実装に関心を持ち米国留学中の修士、アーティスト、地元で医師・看護師・心理士・ボランティアの在宅緩和ケアチームを組織するボランティア
- モチベーション：苦しみを人々と共有する、ソーシャルワークのようなことができる、自分とまわりの人が変わっていく、自由がある、やりたいことができる、家族のような仲間がいる
- いま関心があること：カースト、ジェンダー、平等とアクセシビリティ、児童労働、教育、医療…。
- コンパッションとは：他の人を幸せにする、誰かを助ける、笑いかける、自分が気持ちよくなる一他の人が気持ちよくなる、自分たちがその人にいてほしいと思っているところにコンパッションが生まれる、平和、患者さんが私たちのなかに感じるもの、それによって自分たちのなかに認めることができる